

Cloud Exponence

連絡先

Cloud Exponenceの詳細については、弊社営業担当、もしくは以下までお問い合わせください。

日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社

E-mail: JP.CloudSolution@tcs.com

Website: https://www.tcs.com/jp-ja/DTS/CloudService/Cloud_Exponence

タタコンサルタンシーサービス (TCS) について

タタコンサルタンシーサービス (TCS) は、世界中の大手企業における変革の道のりを50年以上にわたり支援している、ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューション企業です。コンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングのサービスやソリューションを総合的に展開しています。これらをTCS独自のソフトウェア開発基準である「ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは、世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタ・グループの一員で、最高水準のトレーニングを受けた60万6,000人を超える人材を擁し、世界55カ国で事業を展開しています。2022年3月31日を末日とする会計年度の売上高は257億米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、MSCIグローバル・サステナビリティ・インデックスやFTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。TCSの詳細は、www.tcs.comをご覧ください。

本誌に記載されている会社名、ロゴ、製品名およびサービス名などは、タタコンサルタンシーサービスとその関係会社および各社の商標または登録商標です。本誌掲載内容を当社の許可なしに変更、複写・転載、送信、投稿、配布することは、媒体問わず禁じます。掲載されている情報は本誌作成時の情報です。本誌に掲載されている情報の不正使用は、著作権、商標、およびその他の適用法に違反する可能性があり、刑事または民事罰につながる可能性があります。

Copyright © 2022 Tata Consultancy Services Limited



マルチクラウドの運用を自社に根付かせるために

クラウドの運用においては、システム会社に『丸投げ』が習慣となり、実際にシステムを利用する事業部やIT部門が『クラウドを使いこなした』経験がほとんど無いというのが現状ではないでしょうか。

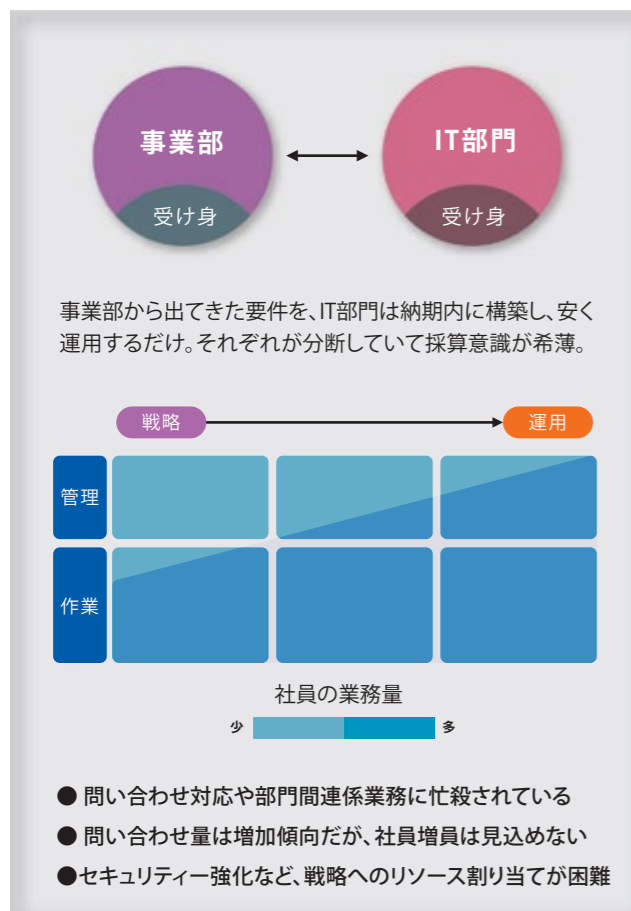
クラウドをフルに活用するためには、社内の『需要を形成する力』を身に着ける必要があります。自らの手でビジネスの成長を自由に描くためには、クラウド運用を内製化することによって自分達の手主導権を取り戻し、IT・デジタルプロジェクトの需要に耐えうる、柔軟なマルチクラウド運用プラットフォームを導入することが必要不可欠です。



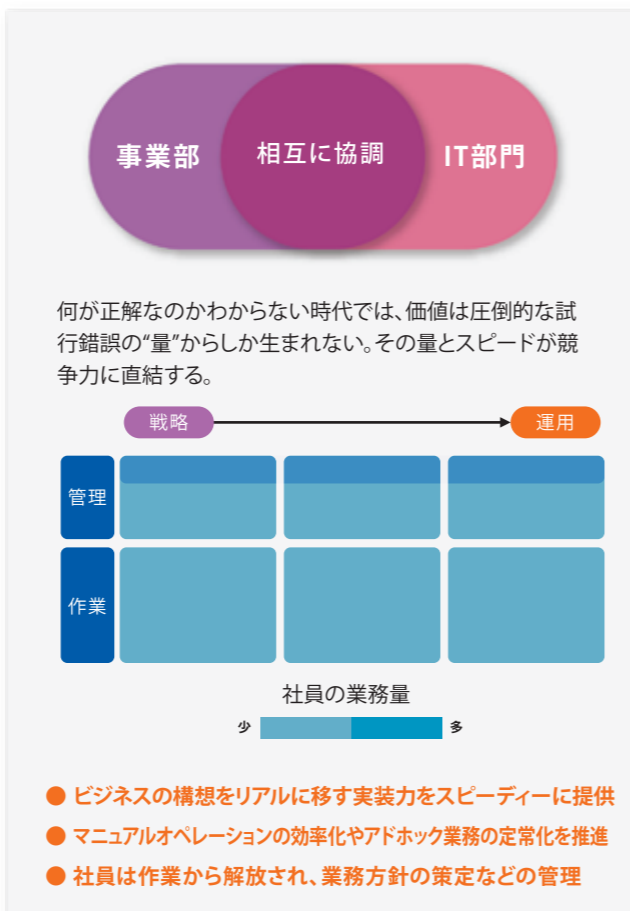
多くの企業が抱える課題

これまでは記帳系や情報系のITシステムが主流で、計画通りにシステムを構築し運用していれば問題はありませんでした。しかし、これからは事業部とIT部門が相互に協調しながら、自らのビジネス構想を現実化するための実装力とそれを反映するスピードが求められています。

現状 計画重視のシステム対応



今後 成果重視のシステム対応



マルチクラウド運用プラットフォームで課題を解決



Cloud Exponenceは、費用対効果の高い標準化されたマルチクラウド運用プラットフォームです。TCS (タタコンサルタンシーサービシズ) 独自のMachine First Delivery Model™により業務を自動化し、人為的ミスを削減します。

また、企業の人材を戦略・管理業務へとシフトさせることによって、社内のリソース最適化や内製化に貢献し、IT・デジタルプロジェクトの基盤として、ビジネスの成長と合理的な費用対効果をもたらします。

Cloud Exponenceの特徴

マルチクラウド運用の標準化

- マルチクラウド/テナント共有型のデリバリープラットフォーム
- サービスカタログ主導でのサービス提供
- 標準化されたデリバリーエクスペリエンスの実現
- SLA/SLOに基づいたクラウド運用サービス

自動化アクセラレーターツールによる効率化

- スケーラブルな単一コンソールによるサービスデリバリー
- 効率化のためのクラウドネイティブサービスを活用
- サードパーティー製ツールを考慮した設計
- アプリケーションサポートチームへのセルフサービスポータル

リソース消費の可視化

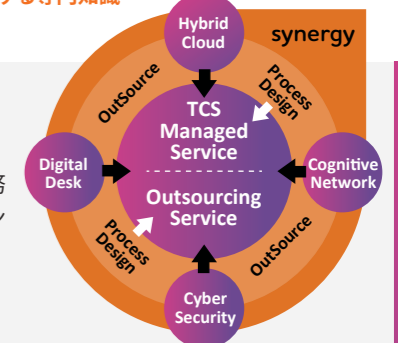
- コスト効率が高く、納得感のあるモデル
- サービス使用量ベースでの課金
- クラウドリソースの適正化等コストメリットの継続的な提案

多言語対応

- 日本語と英語による24時間365日の運用サポート
- 迅速でスムーズな顧客のオンボーディング
- マルチクラウド運用に関する専門知識

マネージドサービス戦略はクラウド領域に限った話ではない

TCSマネージド・インフラストラクチャー・サービスを活用することで、さまざまな領域の運用業務をアップデートすることが可能です。各インフラ技術領域をまたいだ『ワン・ベンダー』での『エンド・ツー・エンド』『ベストロケーション』による運用が、チームに新たなシナジーを生み出します。



TCSマネージド・インフラストラクチャー・サービスの効果

可視性と透明性の向上
~20% Alert reduction

レジリエンスとアジリティの獲得
~50% MTTR reduction

標準化と最適化の推進
~40% Cost reduction

モダン化とトランスフォーメーション
~40% Lead time reduction

IT運用のブラックボックスを一掃し、業務を「じぶんごと」化

安定したデイレートオペレーションとスケーラブルなDR/BCP対応

必要に応じたITツール利用とリソースユニット課金でコストも最適化

テクノロジー負債を低減し、CX/UXを向上